



うさぎ令嬢Ωと

オオカミ令息
〈後編〉

FOR R18 ADULT ONLY



うさぎ令嬢

♀と

FOR
R18
ADULT ONLY

オオカ 令息

♂

〈後編〉

人物紹介



オーウェン・ウォルフ

オーウェン公爵家嫡男。肉食種α。感情が顔に出にくく、口数も少ないため、怒っていると勘違いされやすい。婚約の顔合わせでアメリカに一目惚れした。非童貞だがこれが初恋。



アメリカ・ラヴィ

ラヴィ伯爵家3女。草食種Ω。割と感情が出やすい。すぐ泣く。α男性が苦手。特に肉食種が無理だったがオーウェンの歩み寄りによって少し苦手意識が薄まった。

ラヴィ家メイド

↓2年目



古参↓



ウォルフ家執事

坊っちゃん弄りが趣味



注意

続き本です。
前編を読んでから読むことをオススメします。

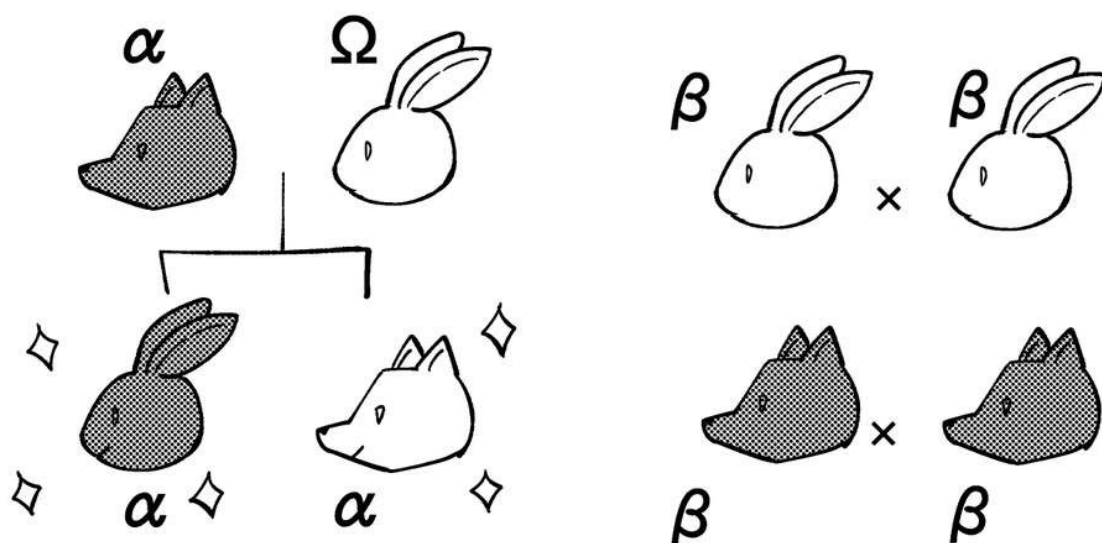


◎この世界の3つの性について

- ①男女の別
- ②種族の別(肉食種、草食種)
- ③第3の別

◎第3の別について

α、β、Ωの三つに分かれており、基本的には同種族の男女で番うものだが、αとΩは男女の別、種族の別を越えて番うことができる。異種族のαとΩから生まれる子は大変優秀であることが多い。α性、Ω性ともに希少種であり、大半はβ性で生まれる。



◎α、Ωの特性について

α…男女問わず女性及びΩ男性を妊娠させる事ができる。通常より優れた能力を持つ事が多い。Ωのフェロモンに対して強い発情(ラット)を起こす。

Ω…男女問わず妊娠することが出来る。一定の周期で発情(ヒート)期が訪れる。発情期間中には特殊なフェロモンを発し、男性及びα女性の性的興奮を誘発しまう。

◎αとΩの番関係について

発情期の性交時にαがΩのうなじをかむことで成立する。

番関係になると互いにしか発情しなくなる。

◎発情抑制剤について

服用することで発情を強制的に抑えることができる。効果は体調や体質に左右される。また、人によって強い副作用が出ることがある。



そうか



お疲れになられたのか
今はぐっすり
眠られています

アメリカ嬢は？



それより



いや、
提案を受け入れたのは俺だ

お前に責任はない
あまり気に病むな



申し訳ありません
私の落ち度です

〆種と〆種の特性を
甘く見ていました

ヒート…Ωの発情。αの性欲を刺激するフェロモンを発する。



今から6年前

アメリカ様が
デビュタントを済まされた
ばかりの頃です

当時のアメリカ様は
今とは違って
とてもお転婆で

領地で過ごされる時は
お一人で屋敷を抜け出しては
近くの湖畔を散策されていました

いつものように
湖畔に向かう途中で
発情期を迎えてしまったそうです



そして偶然同じ日

ラヴィ家と取引の
ある家のご息方が
領地を訪れていました

彼らはみな
「肉食種」で「♀」でした

ラット…αの発情。

不幸にも
使用人がアメリカ様の不在に
気付くより先に

ご息方が
動けずにいるアメリカ様と
遭遇してしまったのです

アメリカ様のフェロモンに
あてられたご息方はラットを起こし

アメリカ様に
襲い掛かったそうです





幸い
使用人が駆け付けたことよって
行為は未遂に済みました



相手が格上の侯爵家であった
こともあり、この時のことは
示談で済まされました



旦那様も
お嬢様の心の傷を慮って
引きこもりを良しとされました

アメリカ様は事件以来
家族以外の男性…

特に肉食種の男性に
対して怯えるようになり

同じ年頃の令嬢のように
社交場に出向くことも出来ず
お屋敷に籠られるようにな
ったのです



おそらく
今回のことは

只であるオーウェン様と
至近距離で接触されたことで
記憶を呼び起されたのかと

6年前というと
まだ10歳になっ
たばかりの頃か

幼い時に
そんな目に合えば
トラウマにもなるだろう

初めて会った時の
あの怯えもうなずける

少しずつ
心を開いてきて
くれていたのに

自分の軽率な行為が
彼女のトラウマを呼び起し

あまつさえ
応急処置とはいえ
手をだしてしまった

理性を失った状態では
必死に継り付いてきていたが

正気に戻った彼女が今
の自分をどう思うのだろうか



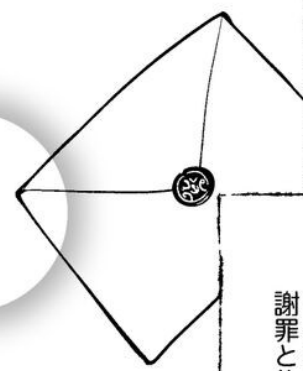
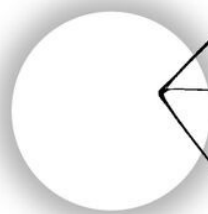
余計な
ことまで
はんそう中



…元々伯爵は令嬢の婚約について
乗り気ではなかったと聞いている

おそらく彼女の心の傷を
慮ってのことだろう

ラヴィ伯爵が愛妻家で
子煩悩という噂は
間違いでないらしい



早々にこの頼末と謝罪を
ラヴィ伯爵に送ったところ

伯爵からは逆に
謝罪と礼を返された

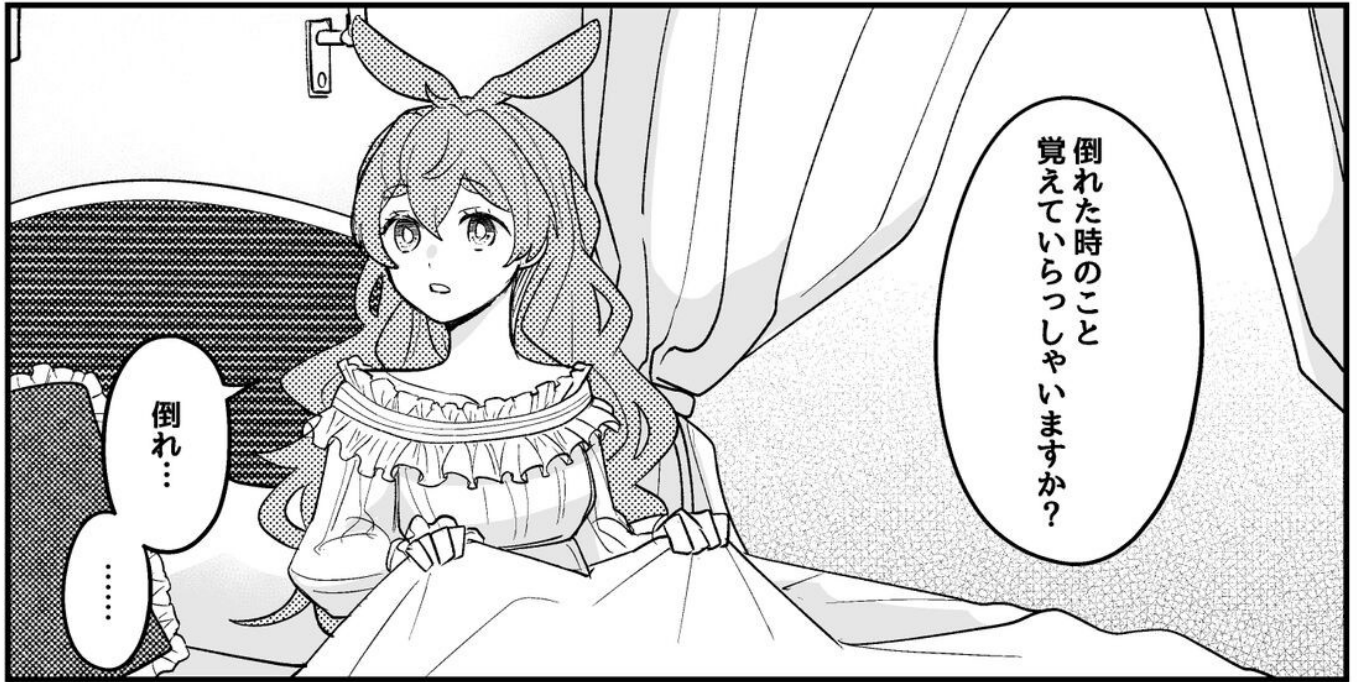
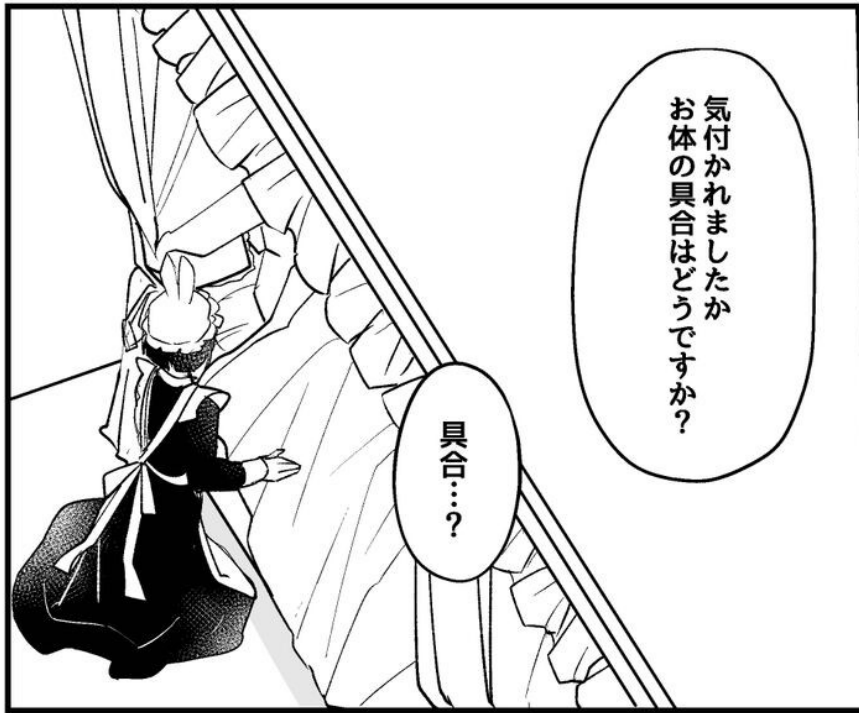
事が起こってしまった前に一度
アメリカ嬢を家に戻すことを
提案されたが

こちらの当主が不在で
あることを理由に断った

王家の取り決めである以上
簡単にこの婚約が白紙になることは
ないだろうが――

今はただ

目を覚ました彼女の
心身が心配だ



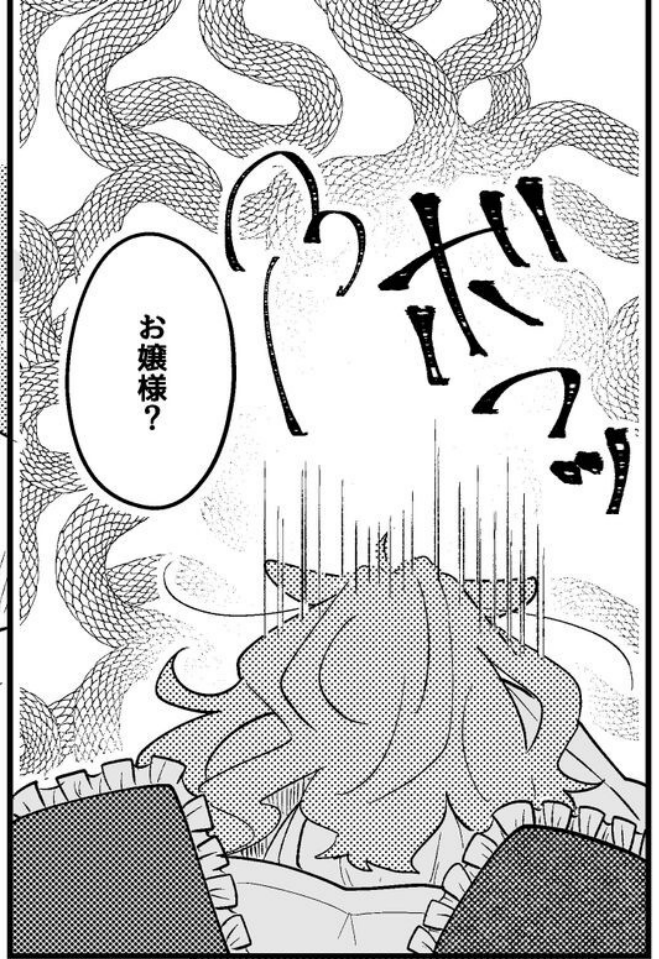


覚えているわ

はずかし

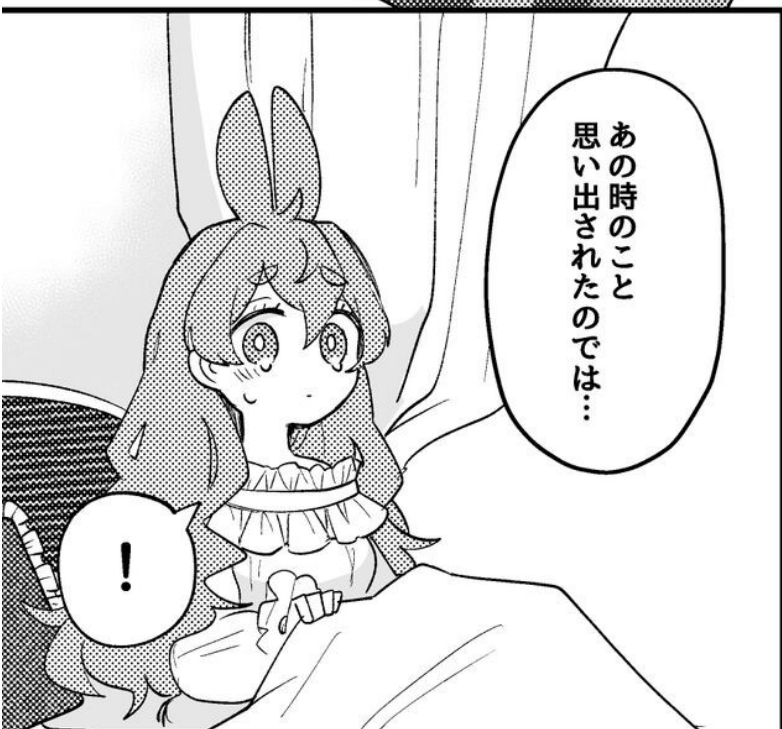
信じられない

信じられない



お嬢様?

我を忘れて
あんな姿……!



あの時のこと
思い出されたのでは…



お嬢様、大丈夫ですか?



確かに一瞬

間近にRの気配を感じて
本能的に身体がすくんだ

周期はまだ先のはずのヒートが
偶発的に起こった引き金は
それかもしれない



けど、6年前とは違う

あの時は

獣のようにギラついた瞳で

獲物が自らを差し出すのが
当然のように振る舞う彼らが
怖かった

なにより

感情とは関係なく
目の前のRを求めようとする
自分が怖かった

オーウェン様は

力任せに押さえつけて
暴くことはしなかった
彼の力なら
仮に私が抵抗したとしても
簡単に抑え込めてしまったらう

でもそうしなかった

フェロモンにあてられて
抑えきれないほどの衝動に
襲われていたはずなのに

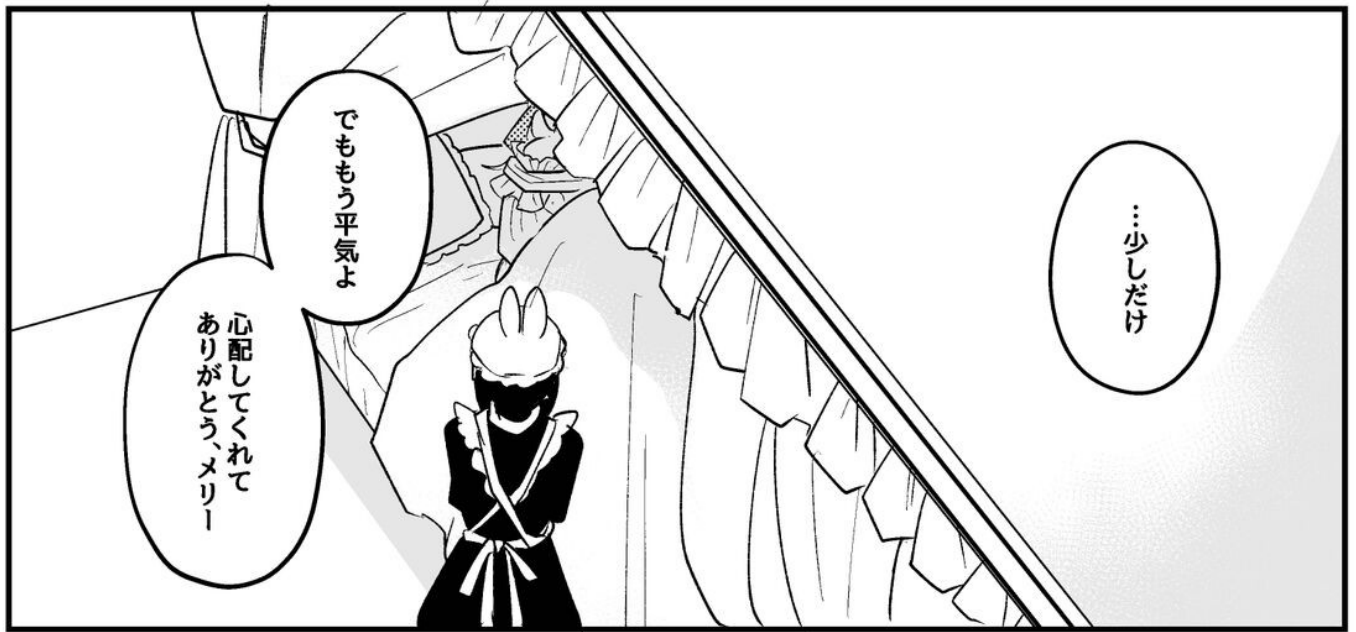
壊れものを扱うように

やさしく

気遣ってくれた

カ
ア
ア
ア

それどころか
私の方が…



うさぎ命令嬢
おんな命令息



自分が戻るまで
接触禁止、だそうだ

旦那様からは、なんと？

言われるまでもない

あの時は耐えたが
二度目は無理だ

あの時でさえ
忍耐力が擦り切れそうだった

次に彼女のヒートにあてられたら
自分を抑える自身がない

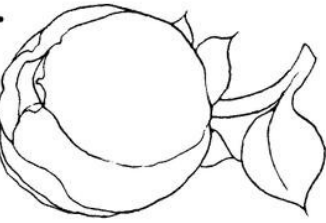


初めて嗅いだ発情した時のフェロモン

彼女に初めて会った時の
香りとは比べ物にならない

抑制剤を飲んだ上で
あんなにも理性を揺さぶられるとは思わなかった

強くて



ひびく甘い

濃くて

あの香りを思い出すだけで
体が反応しそうになる

彼女に間近で接するのは危険だと
自分でも理解している

だが
顔を見られないのも
つらいな

朝、夕の食事も
現在は別で取っている

元々
食事の時間くらいしか
顔を合わす機会がなく

この数週間
全く彼女の姿を見る
ことすら出来なくなった

せめて
遠くから顔を見たくても
このタイミングで
遠征やら討伐やら
激務をねじ込まれて

そもそも
まともな時間に屋敷へ
帰ることが出来ない

はあ...



6年前に
彼女を襲ったという令息たちを
コネを使って特定し
たまたま合同訓練相手が
彼らの所属先だったため
通常より手厚く指導をしたが

全く溜飲は
下がらなかつた



父上に戻るまで
まだ1か月はある

アメリカ嬢はどうしているだろう

オウエン様…
どうされているのかしら

っていう顔ですね♡

!!

どこで仕入れて
くるのそういう情報

ボッコボッコ

王宮の下働きに
従兄弟がいるんですよ

あとは

最近だと若手騎士数人と
手合わせをしてボッコボッコに
のしたっていう話です

政務に
励まれているようですよ



ここ数日は
全く会えなくなつて
しまいましたね

お嬢様
少し休憩しては？



以前はよほどのことがない限り
朝晩は顔を合わせてらしたのに



あいたい

けど、
おかしいですよお



起きたことを思えば
仕方ないのがじら

でも



もしかして
もしかしてですよ



...ええ、そうね



婚約者同士の交流のために
おうちに招かれたのに
一切接触しちやダメだなんて



エッ

このままお二人の婚約を
取り消すなんてこと
あったりするんですかねえ



お二人の婚約って
貴族の々とわって
理由だけですよね



え〜でもお



馬鹿ね

王命がそんな簡単に
ひっくり返るワケ
ないじゃない

ホッ
牛たん
はい

もし他に適任者がいれば
入れ替えてもいいかも
あり得るんじゃないですかあ？

余計なことを言うのは
この口かしら

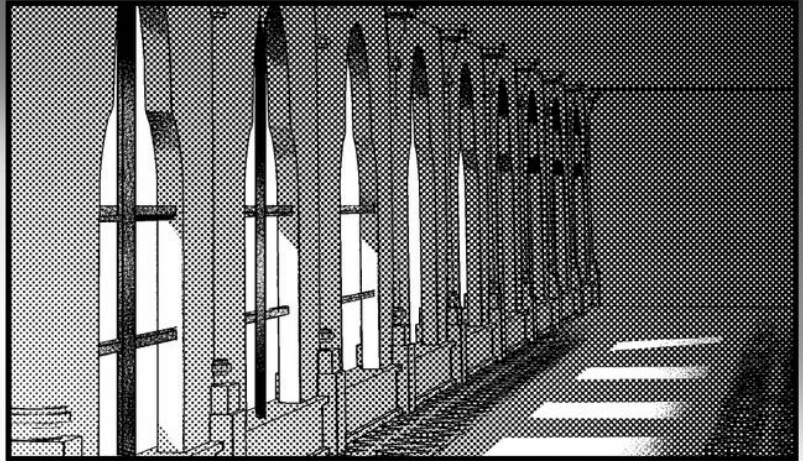
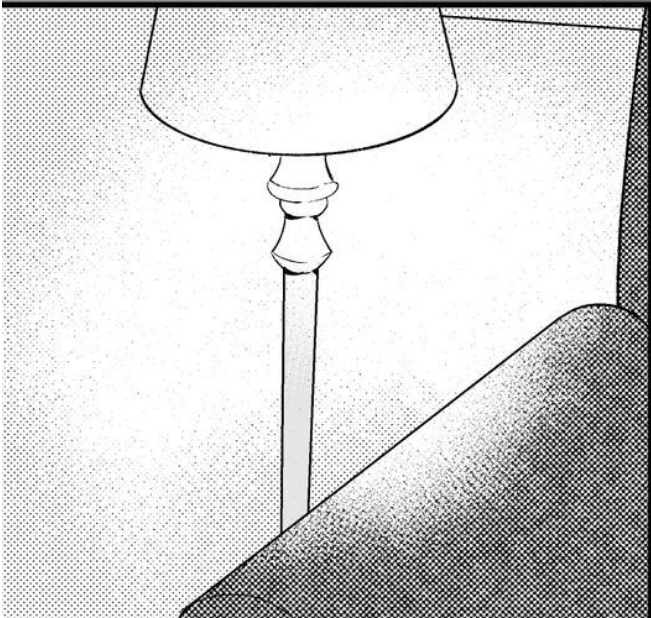
いひやい、
いひやいですよあ〜
めりーひやと…！

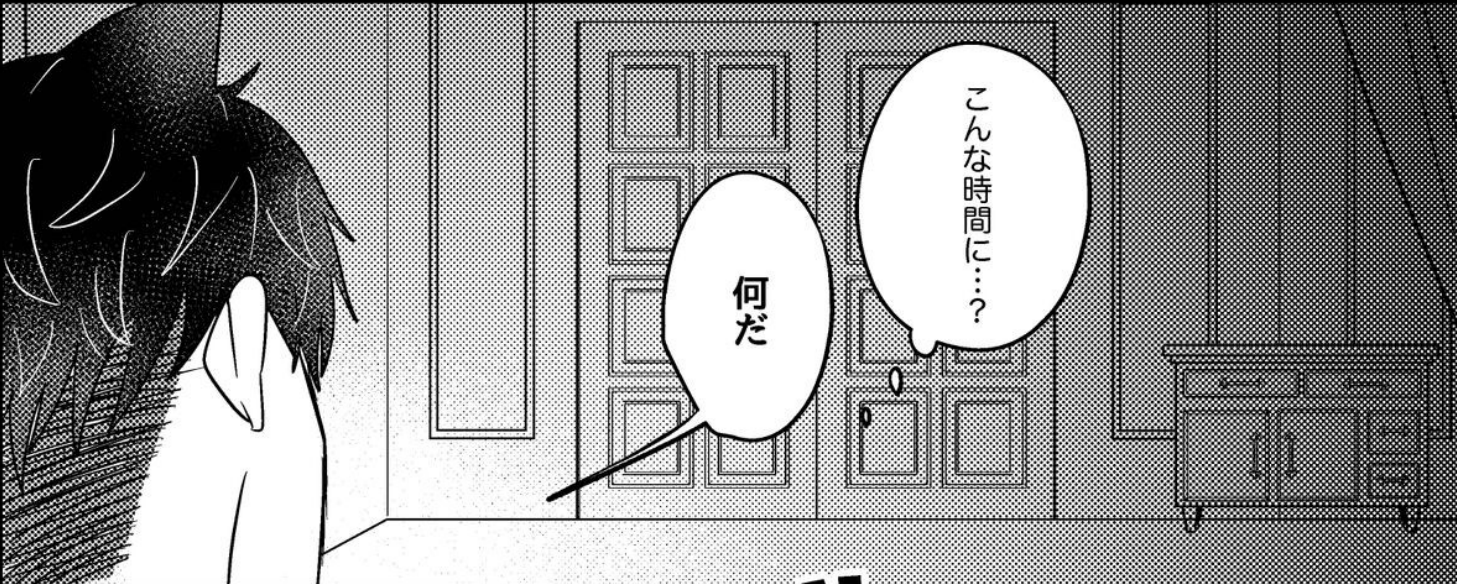
婚約…取り消し…

もしそうなたらお嬢様、
新しい婚約者さんと
結婚することになるんですかねえ

今すぐその口
閉じないと
賄い抜きにして貰うわよ

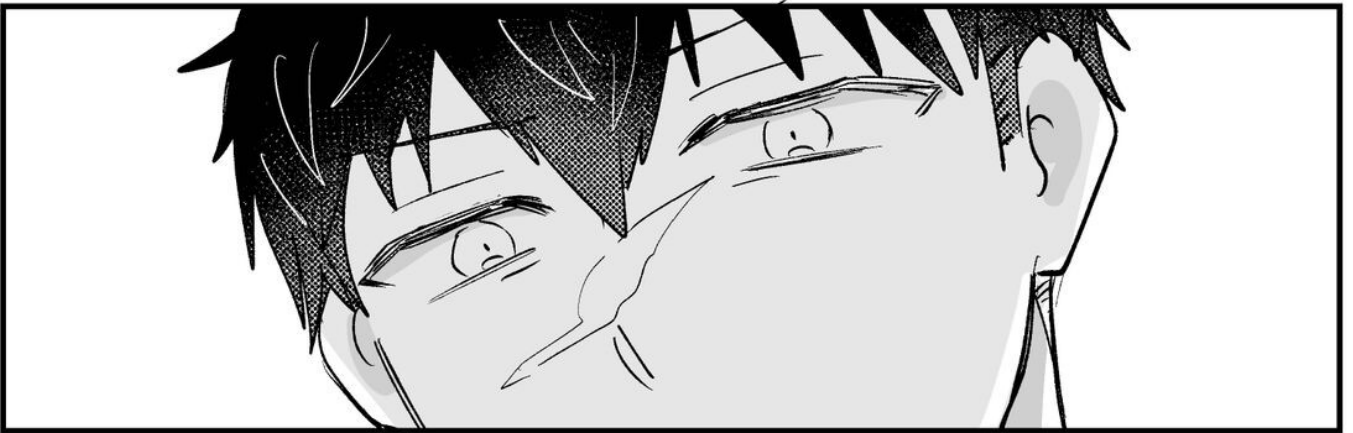
きやん！

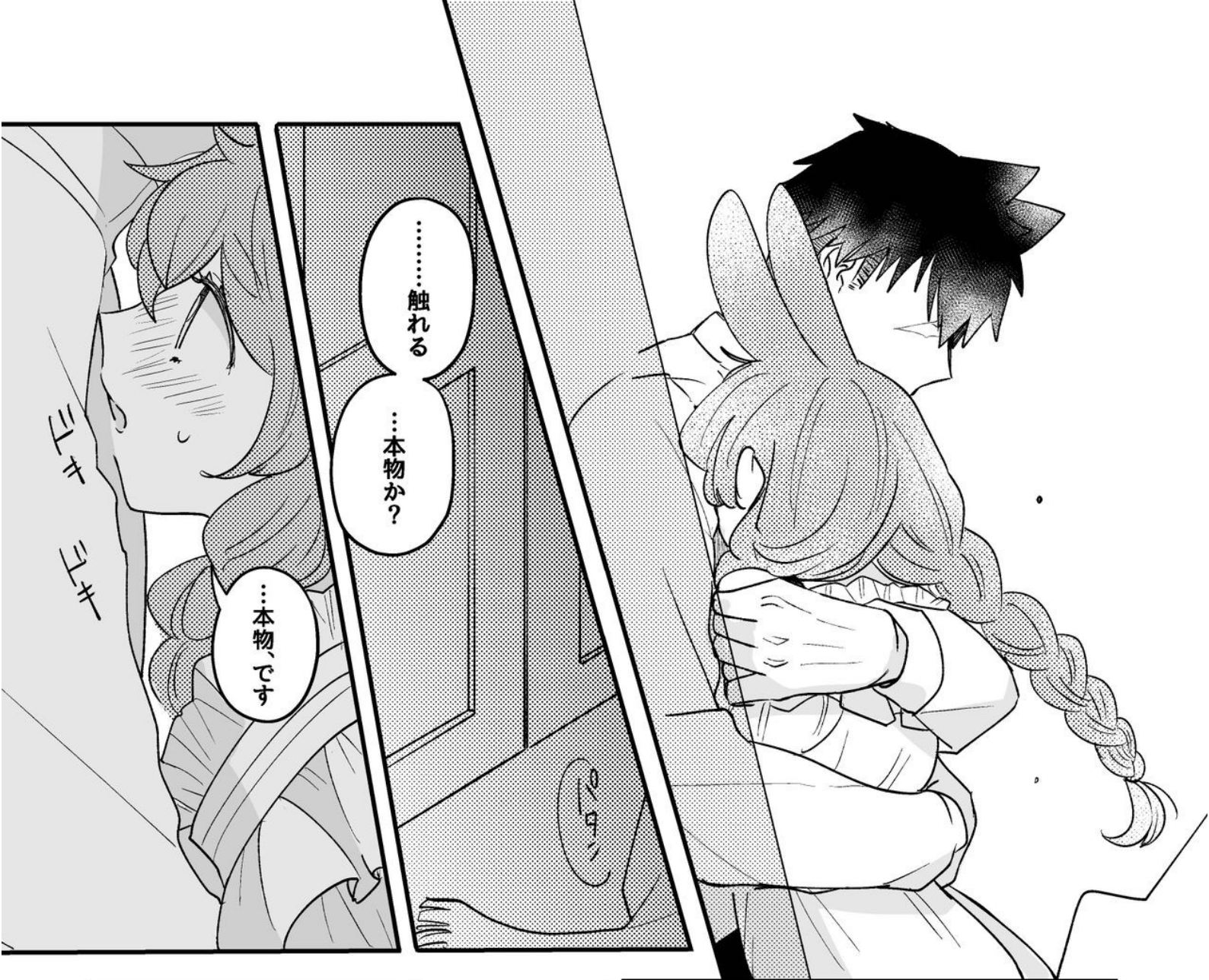




よ

よばいに来ました







どうして来た？

お父上から
接触禁止のことは
聞いているだろう

…また、
この間のようなことが
起きてもいいのか？



その節は
大変なご迷惑を…！

貴女が怖い思いを
していないならいい

…オーウェン様は

あんな、姿を見て

失望されませんでしたか…？



そんなわけがない

むしろいまだに…

…いや、何でもない

とにかく、貴女に
失望なんてするはずがない
安心してくれ

悪感
罪



…あの日以来
オーウェン様
にお会い出来なくて

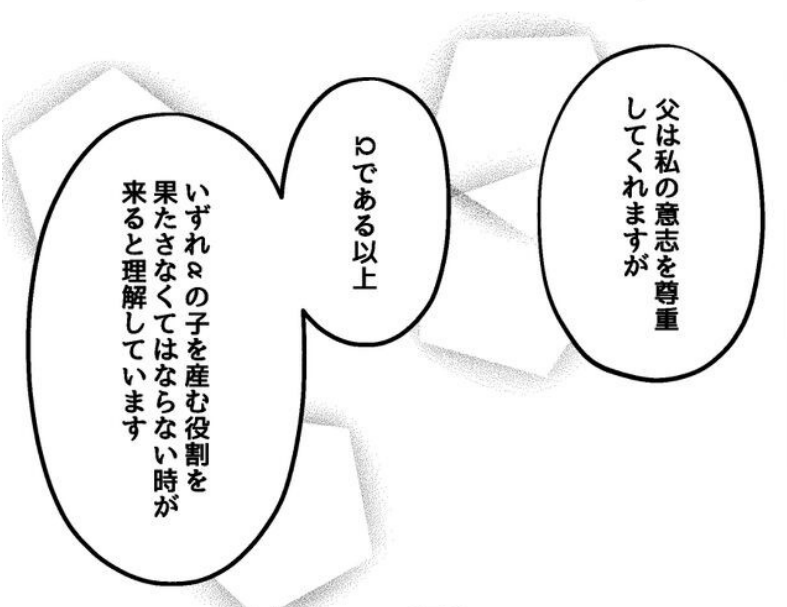
!



あ…



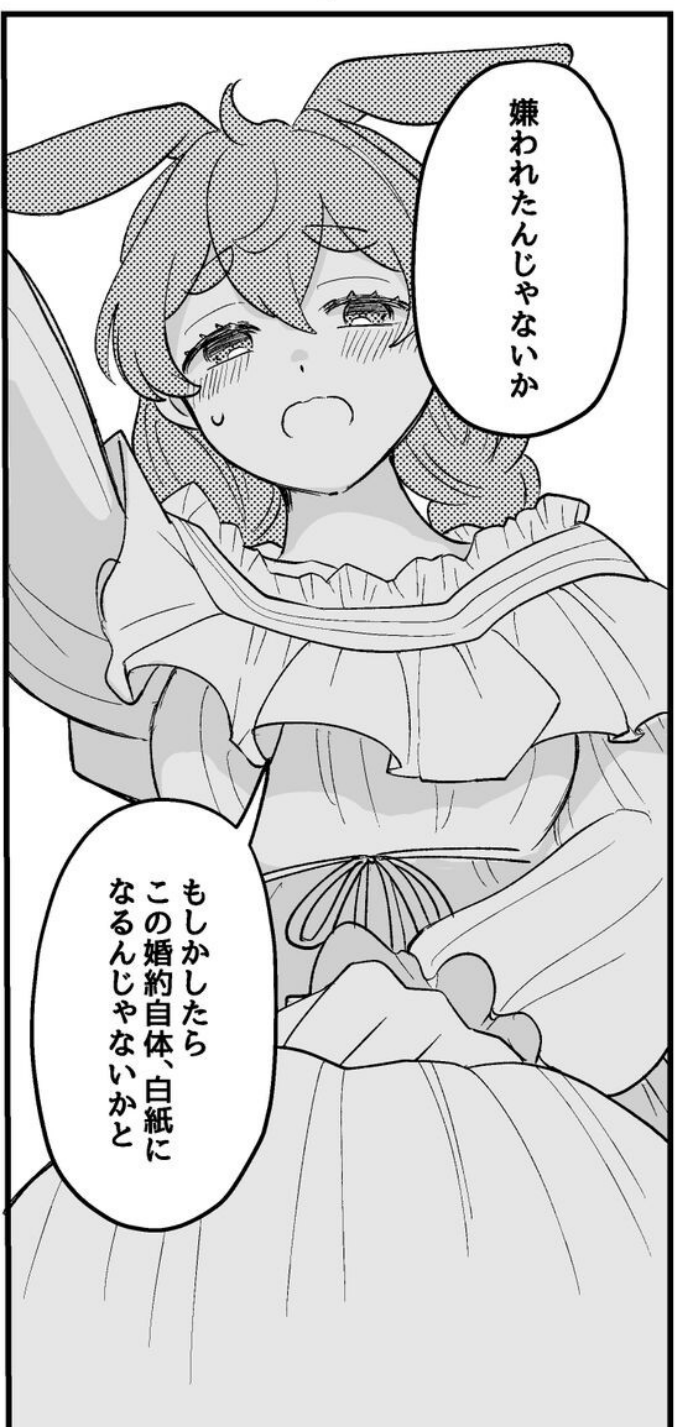
それで、どうして
こんな時間にここにへ？



父は私の意志を尊重
してくれませんが

ひである以上

いずれRの子を産む役割を
果たさなくてはならない時が
来ると理解しています



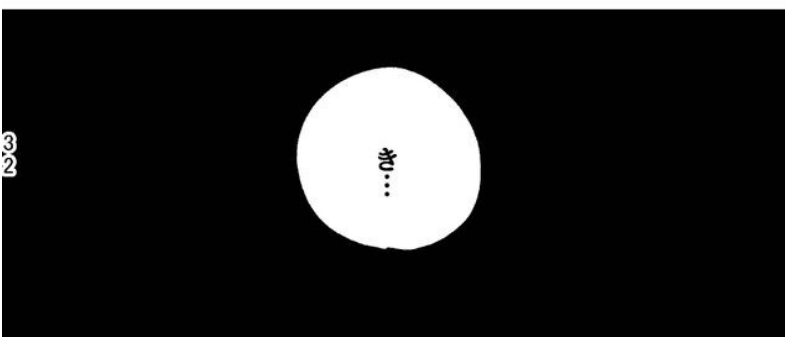
嫌われたんじゃないか

もしかしたら
この婚約自体、白紙に
なるんじゃないかと



この婚約が白紙になれば
オーウェン様以外のRと番う
事になると…

そんな未来を想像した時



「既成事実」があれば
婚約が白紙になることは
ないんじゃないかと…

30

恥!

あ、呆れましたか？

予想外に貴女は
思い切りの良い
人間なんだな

いや、
新たな面を知れて
ワクワクしている

~~~~~



俺は

まだとか

公爵家の  
跡取りだとか

生まれた瞬間から  
背負ったものが  
大きすぎて

俺自身が  
望む望まないを関係なく

色々なものを手にしてきたし  
逆に色々なものを諦めてきた

…そうだな

今思えば  
諦めたものの方が  
多かったかもしれない



けれど  
それらを持っていたおかげで  
貴女と出会うことが出来た



アメリカ嬢

貴女が好きだ

最初は一目ぼれだった

俯く顔をちゃんと見たい  
笑った顔を見たいと思う  
ようになった

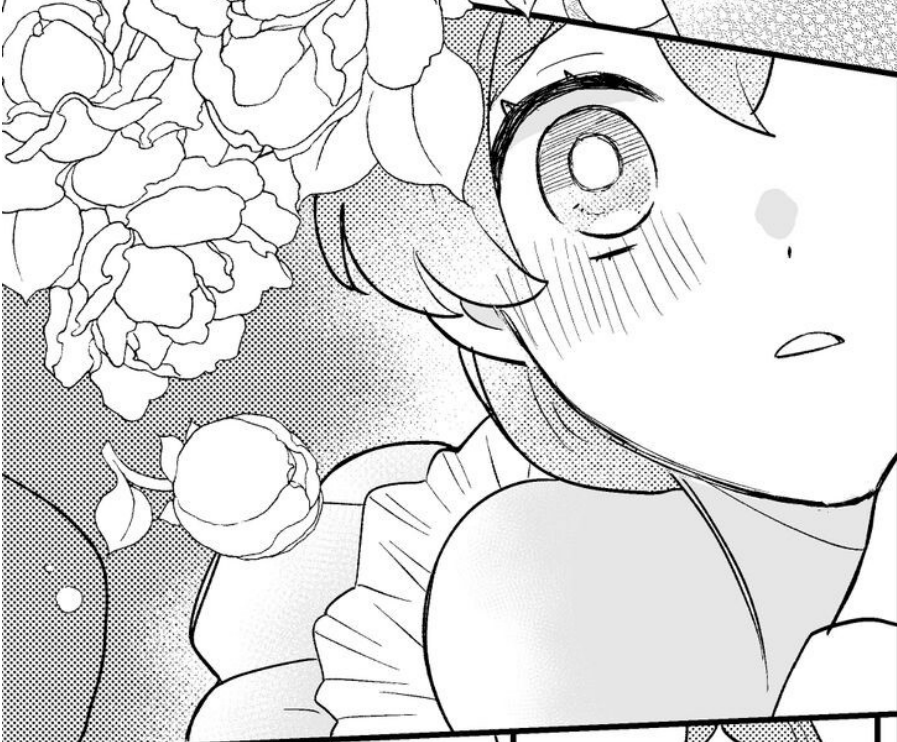
会話ができるようになってからは  
好きなものを語るときに

キラキラと楽しそうな顔を  
ずっと眺めていたいと思った



好きなものに触れている時が一番綺麗だ

どんな貴女も素敵だと思うが



ずっと見ていたい



昔

自分の発情期のせいで

女の男性に襲われそうになったことがあって



わ

私

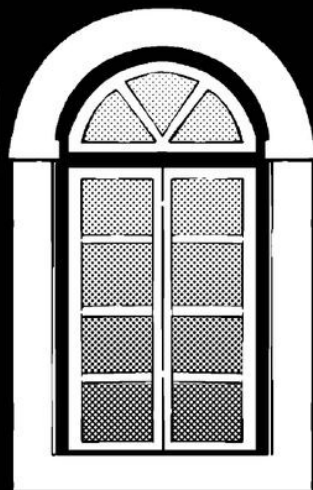


婚約破棄など絶対にさせない

それ以来  
家族以外の男性がみんな  
恐怖の対象になって

私は外の世界から  
逃げ出しました

家族に甘えて  
ずっと殻に閉じこもって



貴方との婚約が  
決まった時も

怖くて、嫌で、逃げたくて

でも  
このままじゃダメだって

ここに来てからも  
何度も逃げ出したって  
思いました



勇気を出して  
ちゃんと向き合った貴方は

誠実でまっすぐで

うまく紡げない  
私の言葉を待ってくれる

やさしい人だった

オウエン様に出会わなければ  
私は今も閉じ籠ったまま

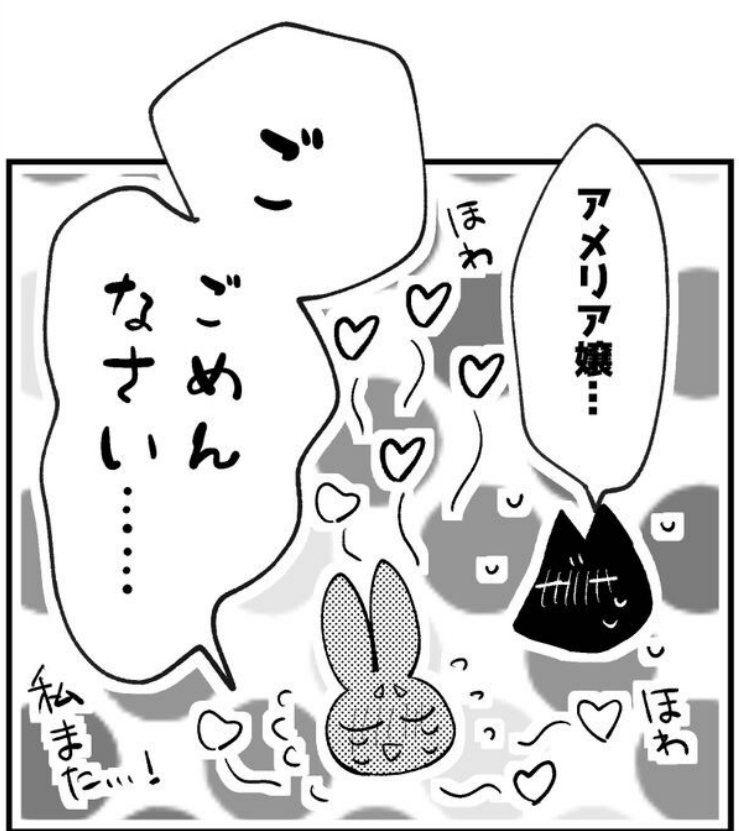
過去から抜け出せずにいたと思います



貴方が好きです

番いになるなら、貴方が良い





ごめん  
なさい……

私また……!

アメリカ嬢……

ほわ

ほわ



……我慢できそうにない



その

こういうことは  
婚姻が済んでからするのが  
望ましいとは思うんだが

バム



嫌だったら  
遠慮なく頬を叩いて  
逃げてくれ



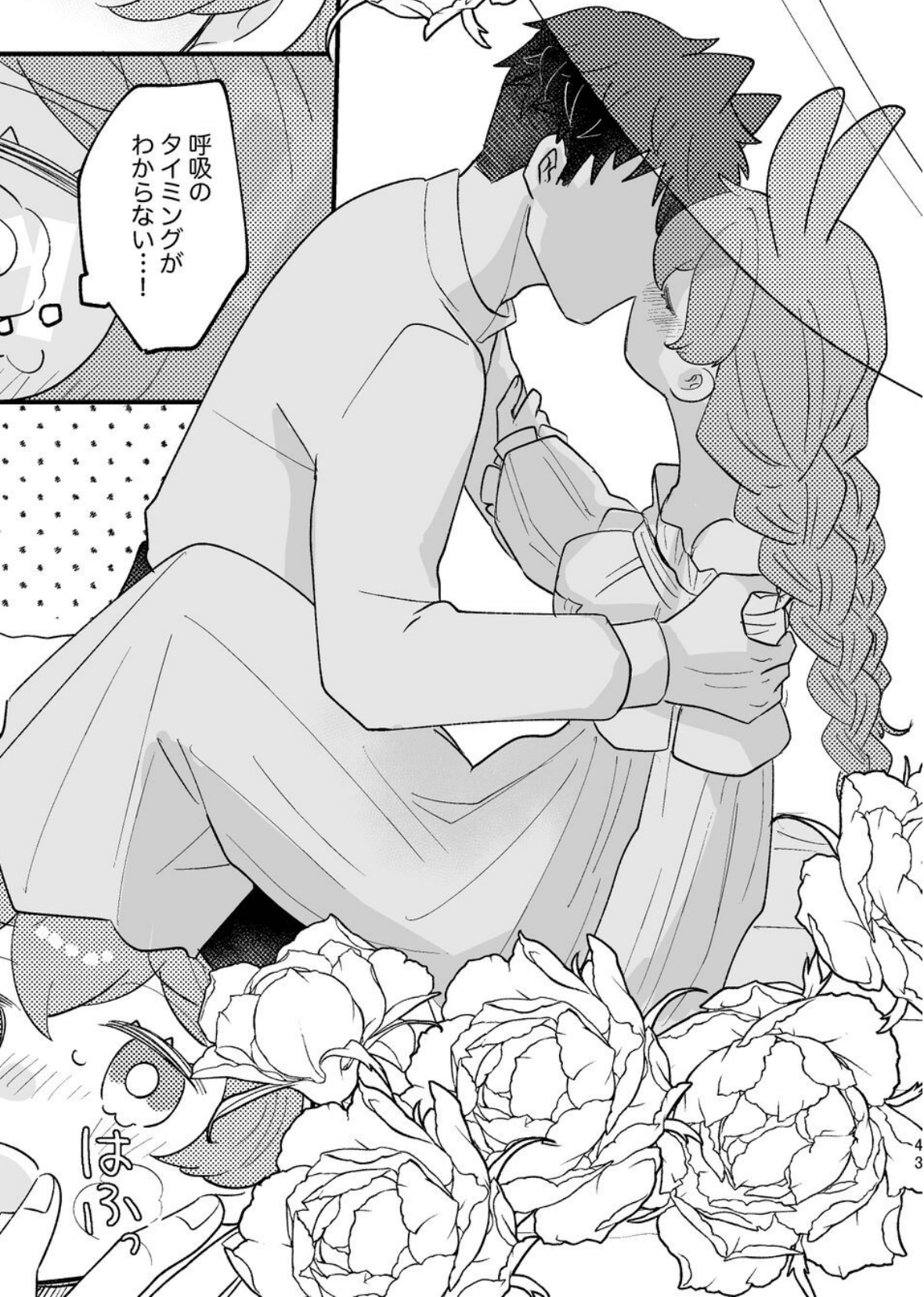
私も、

続きを  
望んでいるので――

…出来ません

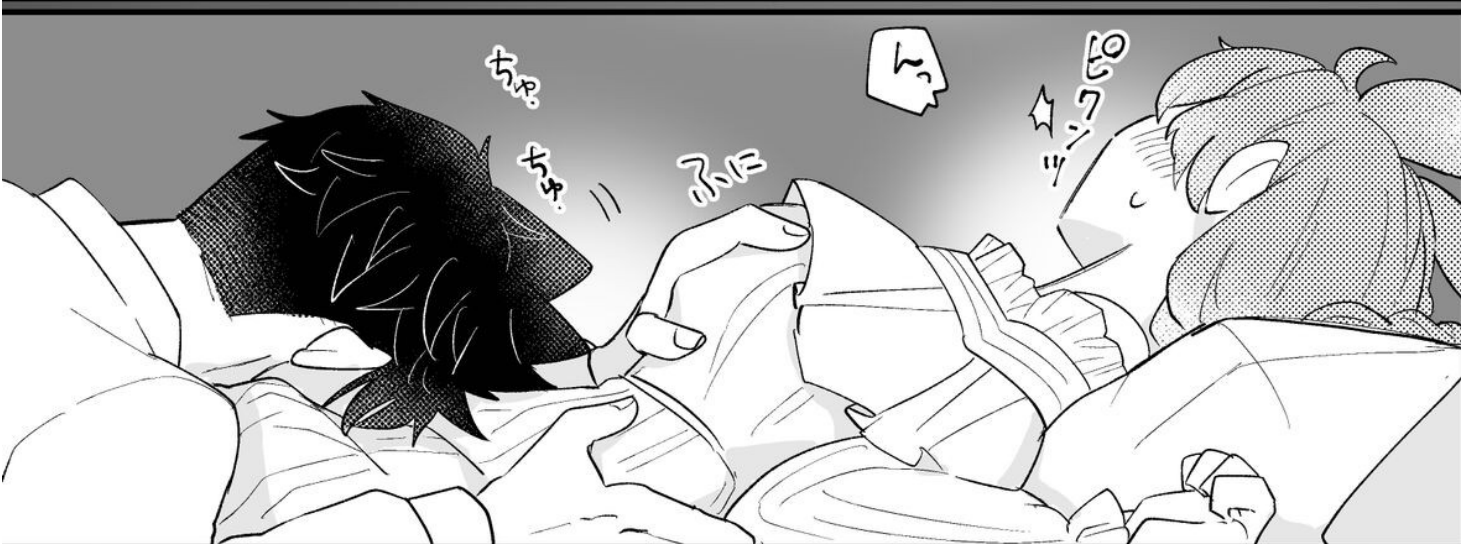


呼吸の  
タイミングが  
わからない…!



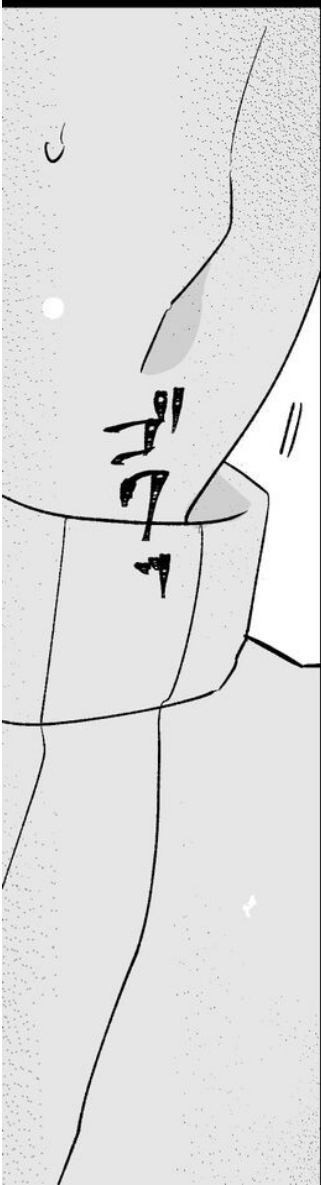
はははは







# オイシソウダ



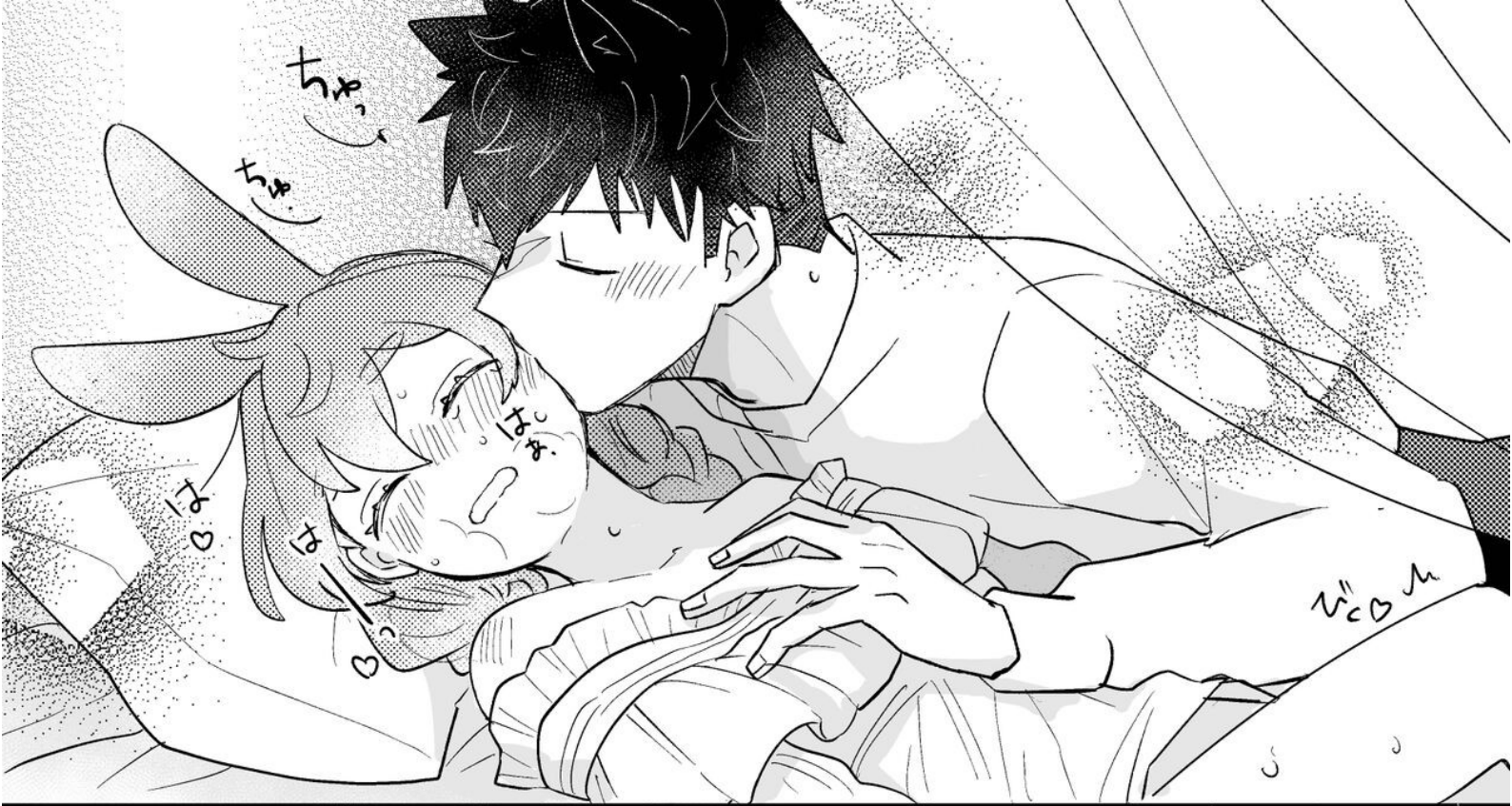
あめ、ちびく



むせ返るような甘い香り













指よりも太くて  
熱いものが

ゆっくり、ゆっくり  
入ってくるのが分かる

ちゅぷん

ん

自分でも  
触れたらこのならんかな  
押し広げたいから

苦しう...

ん



息を止めるな

ゆっくり  
呼吸をして

痛みはないか？

はっ

……ッ

はっ

はっ  
はっ  
はっ



この特性か？

初めてでも  
ずいぶん柔らかい

…これなら

もう少し深く  
入れるぞ

はっ





少し、動けど

ゆさ

あ

は、あッ

オーウエンさ、まッ

アッ

あ♡あ♡♡

待♡

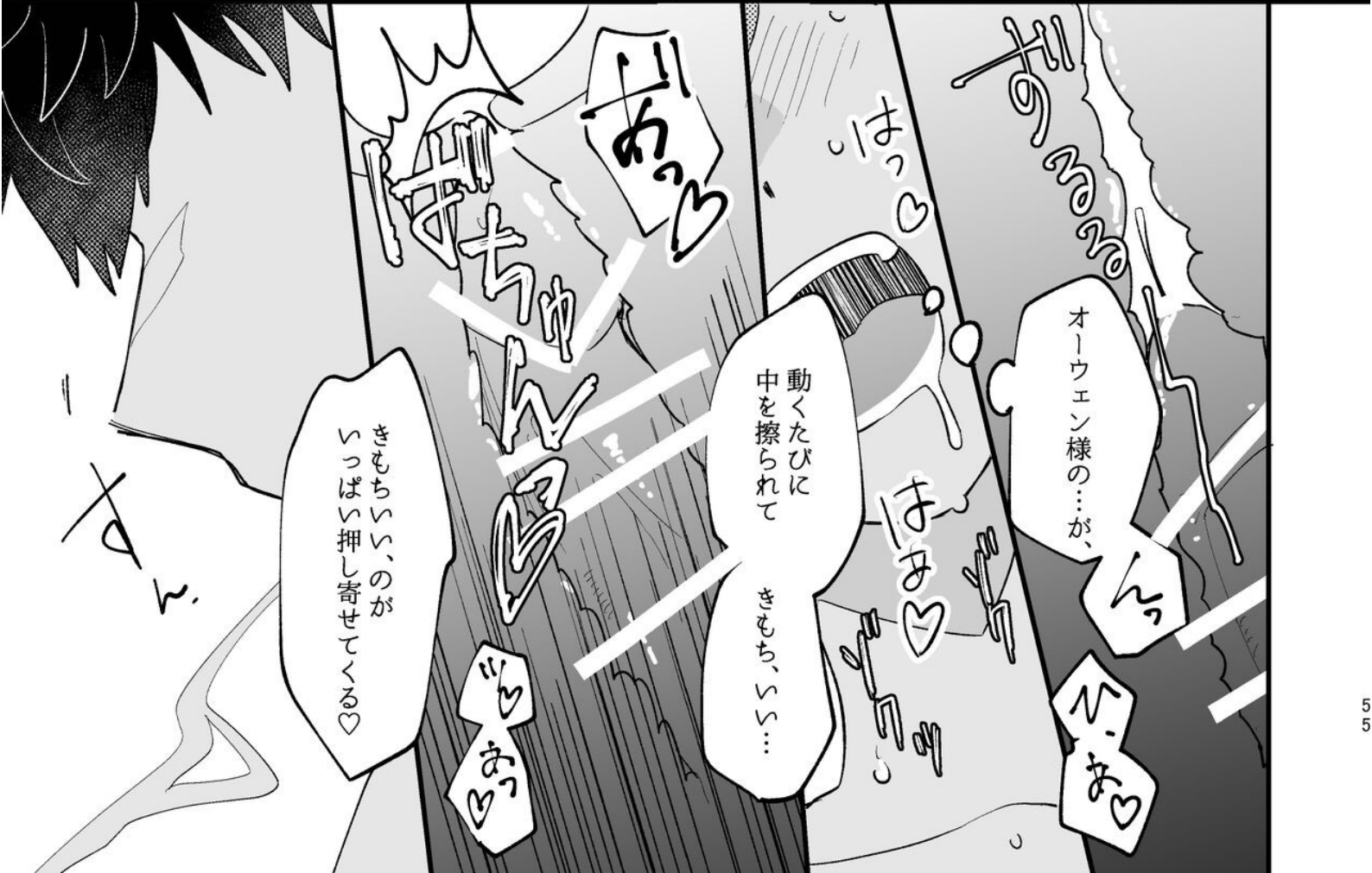
お♡

あ♡

♡あ♡♡

♡ハハ♡

♡



オーウエン様の…が、

動かた時に  
中を擦られて

きもち、スス…

♡おんへんてきせしきすのが

ハハ♡

♡あ♡♡

♡ハハ♡

♡あ♡



奥を穿ったたびに

匂いが濃くなってる

アメリカ嬢

ここがいいのか?

アッ♡

ダメ

そこ、擦ったら  
また来ちゃ...う

あー♡

あー♡

ちがっ♡

ちがっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

おは怖い

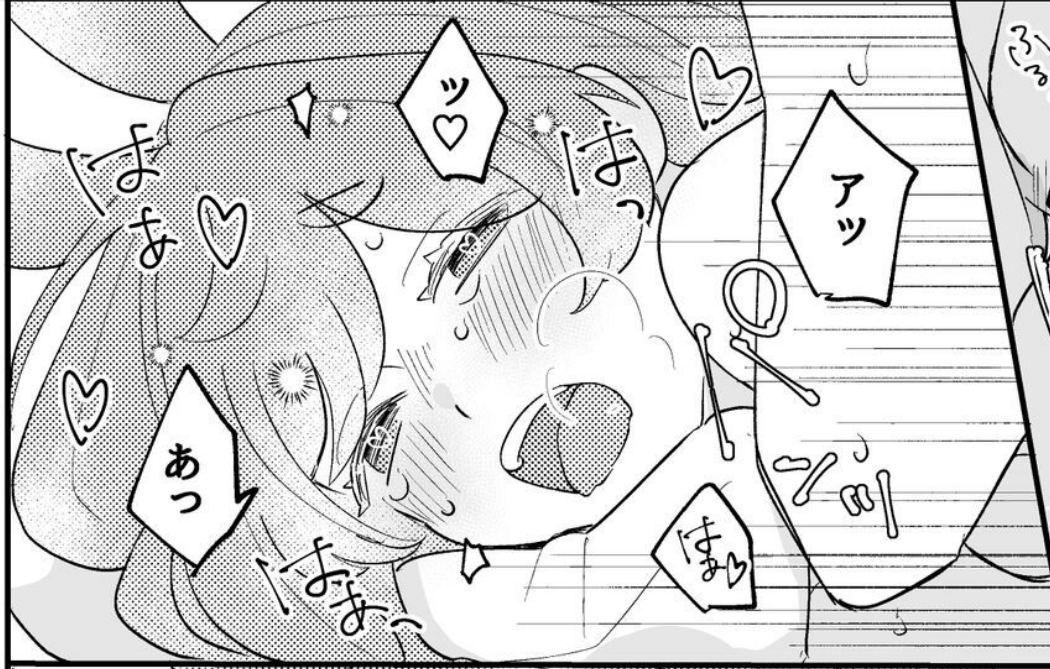
私を食べてしまうから

でもこの人には

もつと

食べられたい













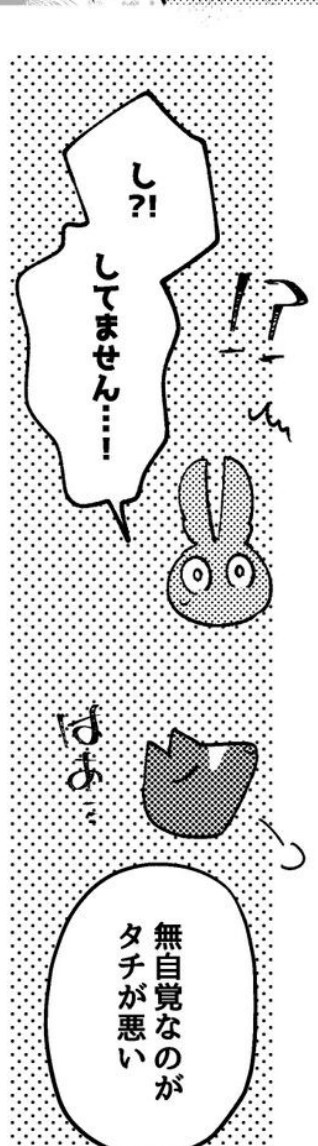
嘔、んでほしいって

カ  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア

思いつてきいて...

すこ

ほほ



し?!

してません...



無自覚なのが  
タチが悪い



貴女は  
俺を誘惑するのが  
上手いな

...



あの、もちろ

オーウエフ様の  
お考えは理解している

あわ

あわ

あわ

ツツク

忍耐



その時が来たら

一生消えないよう  
深く深く刻みつける

今はまだ  
出来ないが



ニコッ

ソッ

貴女が泣いても  
やめないだろうから

覚悟しておいてくれ

お、おてやわらかに  
おねがいます…

笑っ…!?

発行サークル:魚イチバ(サバ缶)

発行年:2022.11.27

Twitter:cava\_Can

MAIL :applexcandy0225@yahoo.co.jp

今回も表紙はいよかせつさんに塗っていただきました！  
感謝！！！！

さいごまで読んでいただき  
ありがとうございました。

身付くまで  
あと5秒

